

2018年3月期決算 2019年3月期計画

挑戦と創造

2018年5月24日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

1. 2018年3月期 実績
2. 2019年3月期 計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
 - 3-3 海外市場
4. M&Aについて
 - 4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー
 - 4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて
 - 4-3 M&Aの実績および展開
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

1. 2018年3月期 連結決算の概要

[単位:百万円]

	2017/3期		2018/3期				
	実績	率	計画	実績	率	伸率	達成率
売上高	151,633		159,000	163,726		8.0%	103.0%
営業利益	18,099	11.9%	19,000	19,092	11.7%	5.5%	100.5%
経常利益	18,374	12.1%	19,400	19,600	12.0%	6.7%	101.0%
当期純利益※	11,064	7.3%	11,700	11,996	7.3%	8.4%	102.5%

※:親会社株主に帰属する当期純利益

[一株当たり単位:円]

ROE	9.9%	-	9.9%	10.1%	-	-	102.0%
一株当たり純利益	169.5	-	179.2	183.8	-	-	102.6%
一株当たり株主資本	1,759.9	-	1,865.0	1,879.1	-	-	100.8%

伸び率

売上高	+8.0%	8期連続増収
営業利益	+5.5%	9期連続増益
経常利益	+6.7%	9期連続増益
当期純利益※	+8.4%	2期連続増益

※親会社株主に帰属する当期純利益

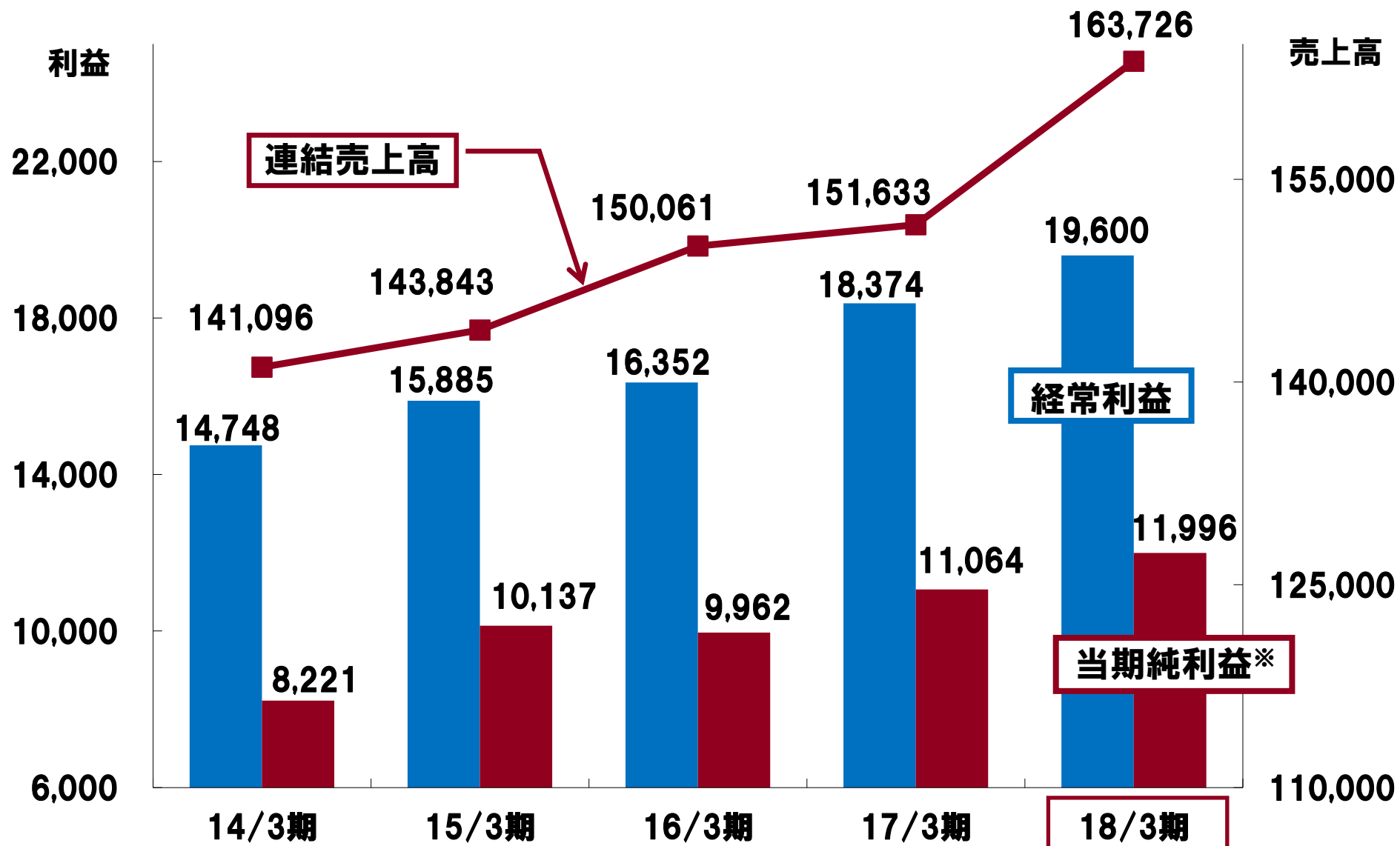
売上・営業利益・経常利益 : 6期連続 過去最高を更新
当期純利益 : 2期連続 過去最高を更新

■国内事業: 住宅向け・非住宅向け共に 好調
機能材料事業 好調

■海外事業: アイカ・アジア・パシフィック(AAP) 好調
東南アジアにおける化粧板販売 好調

1. 過去5年間 連結決算の推移

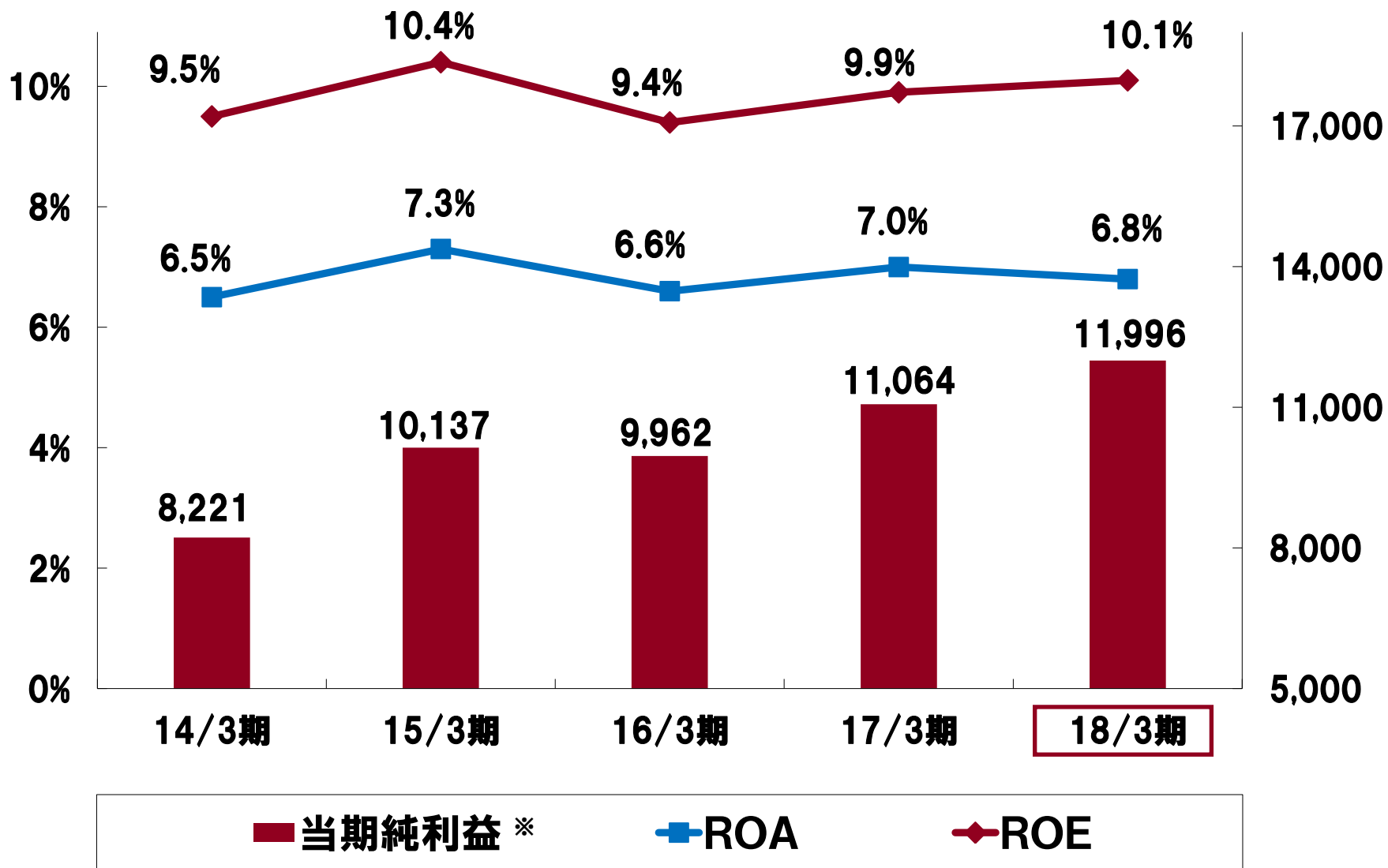
[単位:百万円]



※親会社株主に帰属する当期純利益

1. 過去5年間 ROA・ROEの推移

[単位:百万円]



※親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2018年3月期 主要項目の状況

	2016/3期	2017/3期	2018/3期
	連結	連結	連結
設備投資額	29.3億円	38.7億円	45.2億円
減価償却費	34.9億円	34.5億円	35.5億円
研究開発費	26.0億円	26.7億円	28.5億円
借入金残高	19.0億円	20.4億円	51.5億円
期末人員			
国内	1,510人	1,529人	1,559人
海外	1,818人	1,820人	2,291人
合計	3,328人	3,349人	3,850人

1. 2018年3月期 セグメント別実績

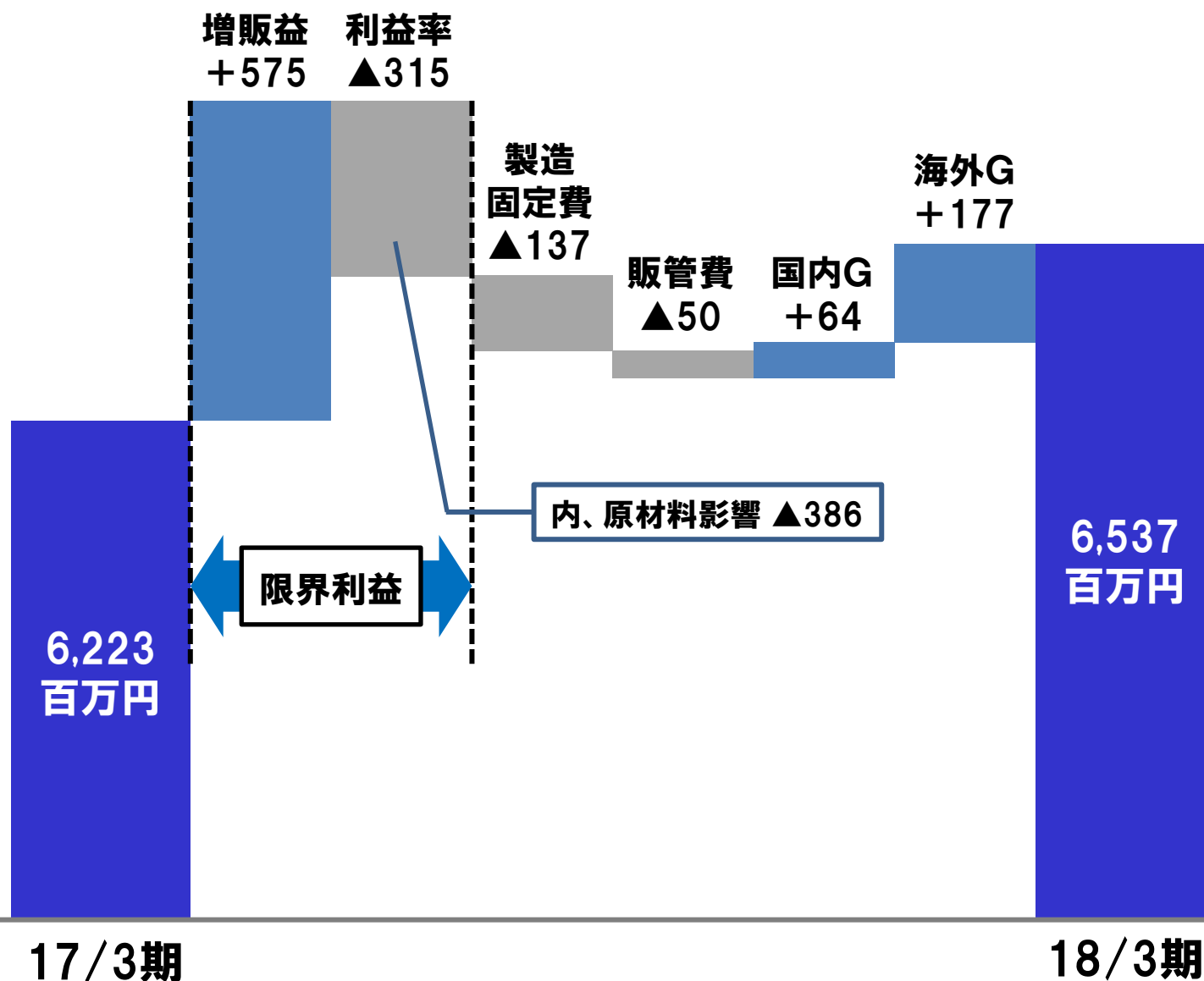
[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2017/3期 実績	2018/3期 計画	2018/3期 実績	2017/3期 実績	2018/3期 計画	2018/3期 実績	
化粧品	74,881	79,600	82,911	6,223	6,600	6,537	金額
				8.3%	8.3%	7.9%	利益率
建装建材	76,752	79,400	80,815	14,487	15,000	15,623	金額
				18.9%	18.9%	19.3%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 2,611	▲ 2,600	▲ 3,068	金額
合計	151,633	159,000	163,726	18,099	19,000	19,092	金額
				11.9%	11.9%	11.7%	利益率

1. 利益増減(化成品) <17/3期 vs.18/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

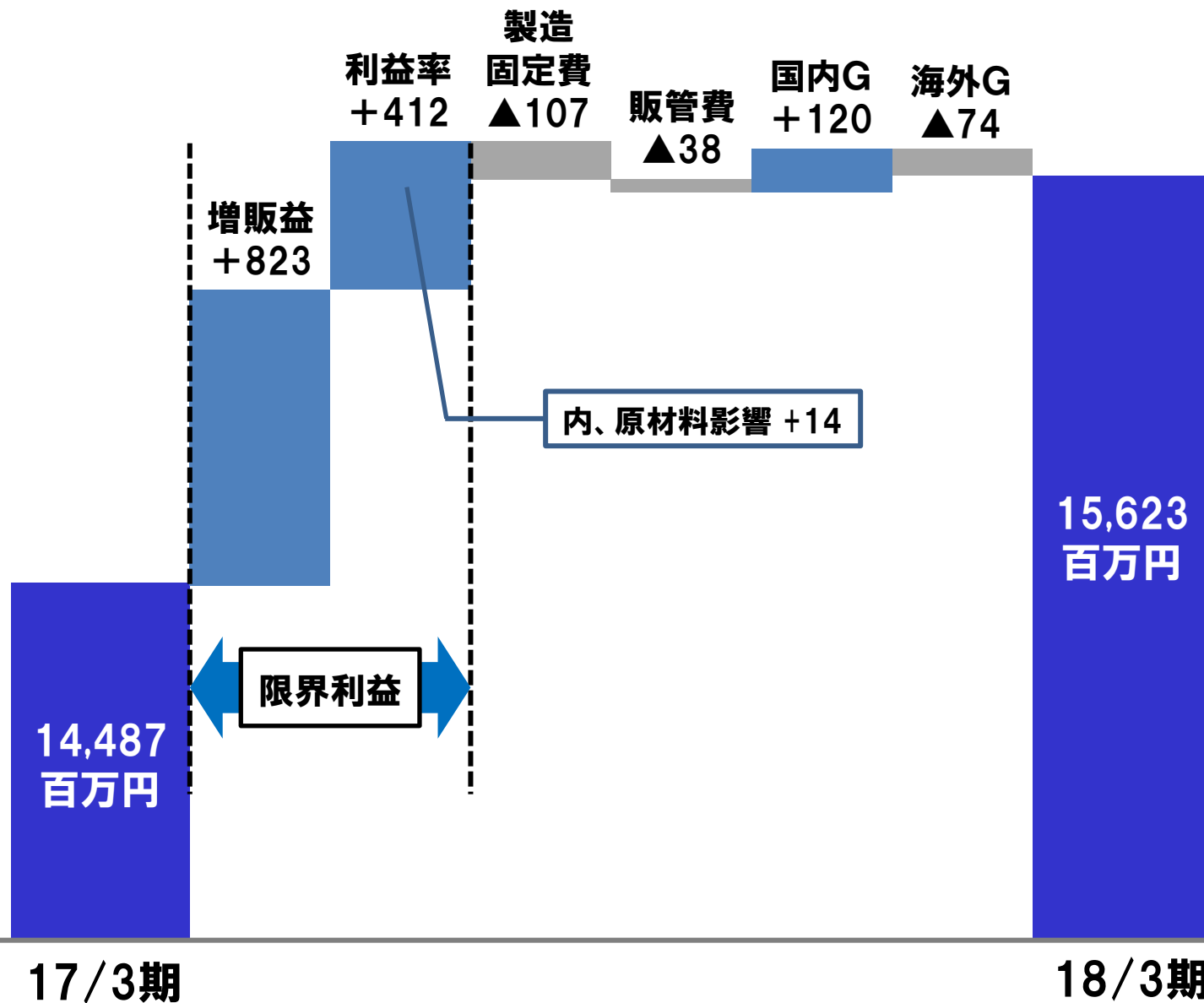
[単位:百万円]



1. 利益増減(建装建材) <17/3期 vs.18/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



1. 2018年3月期 実績

2. 2019年3月期 計画

3. セグメントの現況および方策

3-1 化成品セグメント

3-2 建装建材セグメント

3-3 海外市場

4. M&Aについて

4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー

4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて

4-3 M&Aの実績および展開

5. 中期経営計画C & C2000の進捗

6. 配当について

2. 2019年3月期 経営環境予測

国内建設市場

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

2018年3月期(実績)	住宅:▲0.3%	非住宅:+3.1%
2019年3月期(予測)	住宅:▲2.2%	非住宅:+1.2%

海外市場

中国・ASEAN地域での成長持続

建設分野 : 繊維板用樹脂の需要拡大

高品質メラミン化粧板の需要拡大

非建設分野 : 経済成長に伴う接着剤の需要拡大

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は僅か

2018年3月期(実績)	1USD=112.38円
2019年3月期(想定)	1USD=105.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2018年3月期(実績)	40,500円/kl
2019年3月期(想定)	46,500円/kl

2. 2019年3月期計画

[単位：百万円]

	2018／3期 実績		2019／3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売上高	163,726	-	185,000	-	13.0%	21,274
営業利益	19,092	11.7%	20,800	11.2%	8.9%	1,708
経常利益	19,600	12.0%	21,000	11.4%	7.1%	1,400
当期純利益※	11,996	7.3%	13,400	7.2%	11.7%	1,404
ROE	10.1%	-	10.6%	-	-	-
ROA	6.8%	-	6.8%	-	-	-
一株当たり純利益	183.7円	-	205.2円	-	-	-
一株当たり株主資本	1,880.1円	-	1,987.4円	-	-	-
設備投資額	45.2億円	-	80.0億円	-	-	-
減価償却費	35.5億円	-	40.0億円	-	-	-
研究開発費	28.5億円	-	32.2億円	-	-	-

※：親会社株主に帰属する当期純利益

2. 2019年3月期 通期セグメント別計画

[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2018/3期 実績	2019/3期 計画	差異	2018/3期 実績	2019/3期 計画	差異	
化成品	82,911	101,000	18,089	6,537	8,165	1,628	金額
				7.9%	8.1%	0.2%	利益率
建装建材	80,815	84,000	3,185	15,623	15,885	262	金額
				19.3%	18.9%	▲ 0.4%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 3,068	▲ 3,251	▲ 183	金額
合計	163,726	185,000	21,274	19,092	20,800	1,708	金額
				11.7%	11.2%	▲ 0.4%	利益率

2. 2019年3月期 上期セグメント別計画

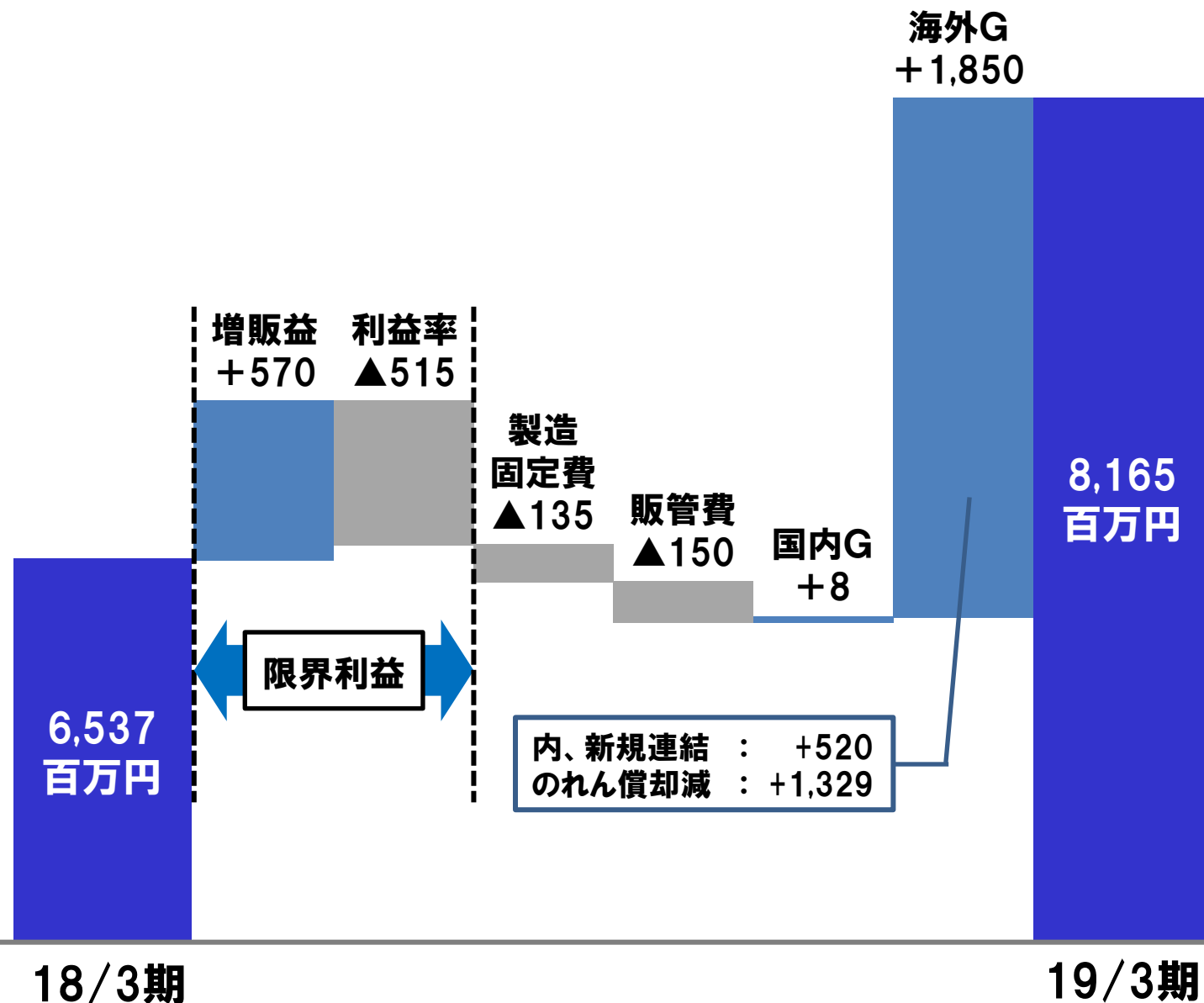
[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2017/9期 実績	2018/9期 計画	差異	2017/9期 実績	2018/9期 計画	差異	
化成品	39,889	48,150	8,261	3,375	3,790	415	金額
				8.5%	7.9%	▲ 0.6%	利益率
建装建材	38,123	39,850	1,727	7,169	7,335	166	金額
				18.8%	18.4%	▲ 0.4%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,244	▲ 1,325	▲ 81	金額
合計	78,012	88,000	9,988	9,300	9,800	500	金額
				11.9%	11.1%	▲ 0.8%	利益率

2. 利益増減計画(化成品) <18/3期vs.19/3期>

配賦不能営業費用控除前営業利益

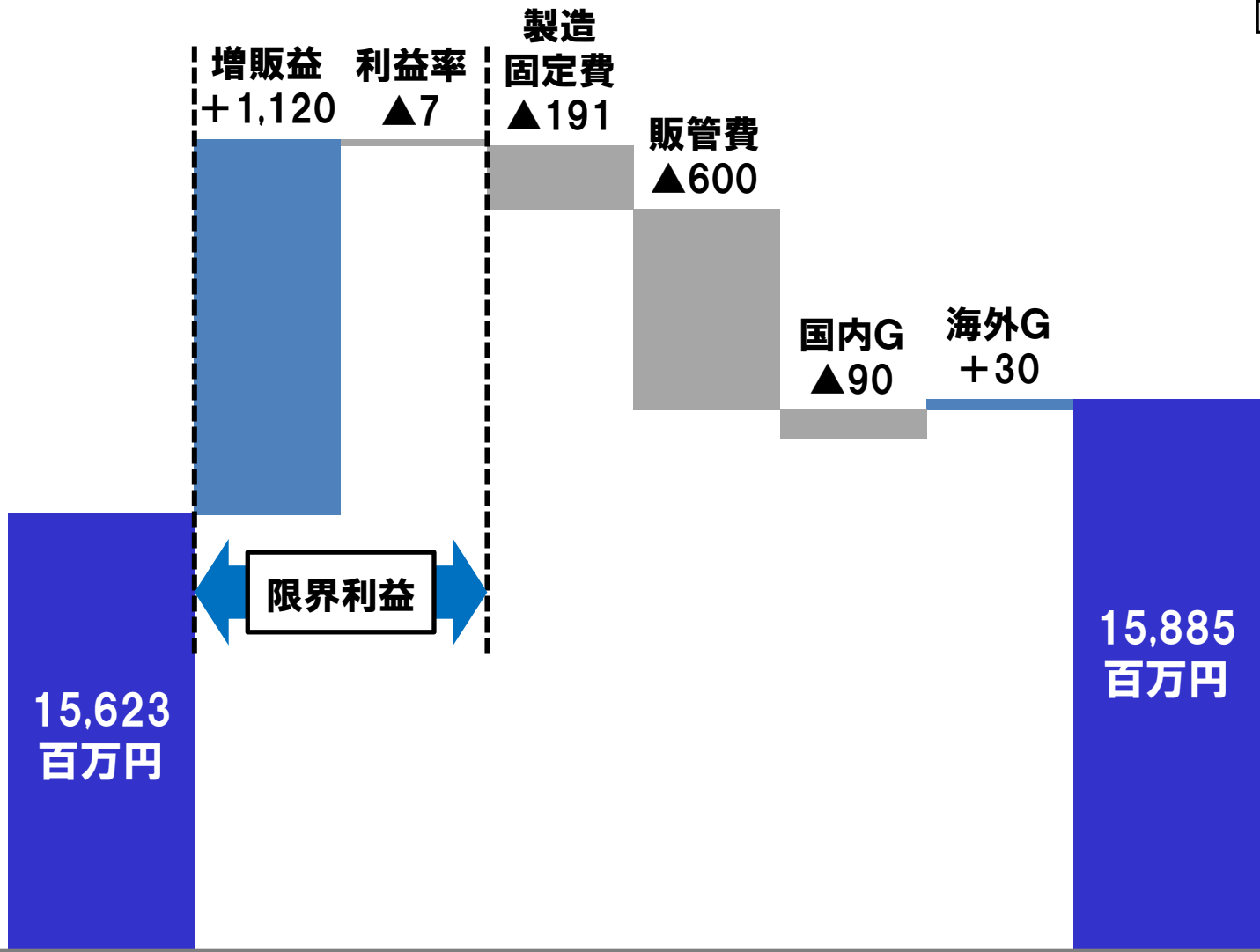
[単位:百万円]



2. 利益増減計画(建装建材) < 18/3期vs.19/3期 >

配賦不能営業費用控除前営業利益

[単位:百万円]



18/3期

19/3期

限界利益

1. 2018年3月期 実績
2. 2019年3月期 計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
 - 3-3 海外市場
4. M&Aについて
 - 4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー
 - 4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて
 - 4-3 M&Aの実績および展開
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

3-1 化成品セグメント 商品群別売上実績

	2017/3期	2018/3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸び率
接着剤	477.1億円	509.6億円	539.7億円	5.9%	13.1%
AAP	348.7億円	375.0億円	405.6億円	8.2%	16.3%
建設樹脂	97.0億円	97.0億円	95.2億円	▲1.9%	▲1.9%
機能材料	92.2億円	100.0億円	98.0億円	▲2.0%	6.3%
その他	82.3億円	89.1億円	96.1億円	7.9%	16.7%
合計	748.8億円	796.0億円	829.1億円	4.2%	10.7%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

3-1 化成品セグメント 商品群別売上計画

	2018／3期（実績）		2019／3期（計画）			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
接着剤	258.2億円	539.7億円	290.0億円	12.3%	613.0億円	13.6%
AAP	191.2億円	405.6億円	273.5億円	43.0%	477.0億円	17.6%
建設樹脂	46.8億円	95.2億円	47.8億円	2.0%	96.5億円	1.3%
機能材料	48.8億円	98.0億円	98.0億円	100.6%	202.5億円	106.5%
その他	44.8億円	96.1億円	45.7億円	1.8%	98.0億円	2.0%
合計	398.8億円	829.1億円	481.5億円	20.7%	1,010.0億円	21.8%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

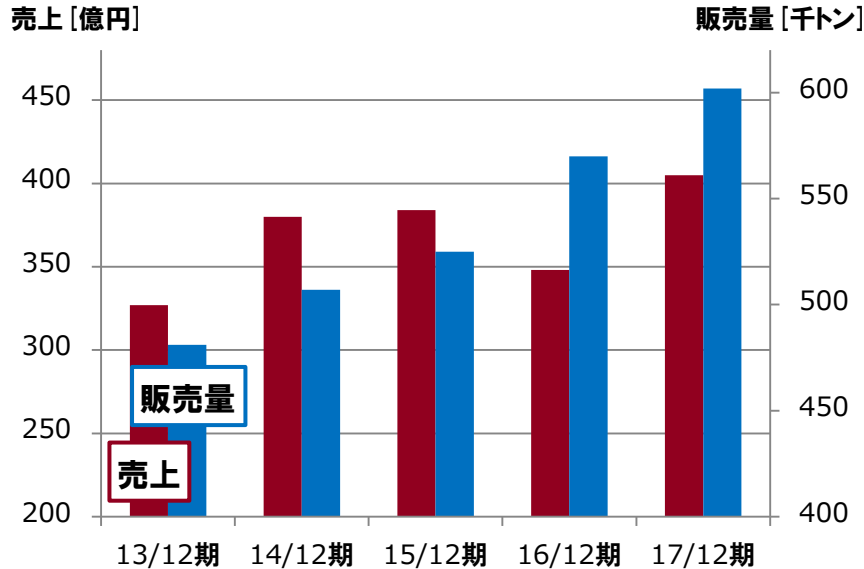
3-1 化成品セグメント 実績(接着剤)

海外:好調

■数量増および売価上昇により増収

- ・AAPタイの繊維板用樹脂、インドネシアのゴム糊
中国の産業用樹脂を中心に数量増
- ・AAP×AICAシナジー、約11億円実績化

アイカ・アジア・パシフィック (AAP) の売上・販売量の推移



国内:好調

■合板需要増・合併効果で増収・数量増

- ・旧アイカSDKフェノール+アイカ工業のキャパ活用
- ・国産構造用合板需要増により数量増



■内外装タイル用接着剤拡販

- ・下地調整材とタイル貼りの機能を備える接着剤
- ・タイルのはく落リスク低減
- ・工程簡素化、工期短縮



売上:539億円(対前年113.1%)

国内外ともに、需要取り込み好調

ジョリパット (塗り壁材)



- **低迷**
- ・新築ハウスメーカー向け 低迷
- ・リフォーム向け 好調

ジョリエース (塗床材)



- **横ばい**
- ・工場・倉庫向け 好調
- ・住宅ベランダ用途 低迷

ジョリシール ダイナミックレジン (補修・補強分野)



- **好調**
- ・シール材 好調
- ・タイルはく落防止材 好調

売上:95億円 (対前年98.1%)

ジョリパット新築向け・・・低迷

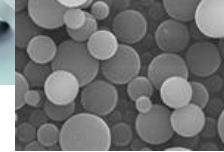
3-1 化成品セグメント 実績(機能材料)

ホットメルト・機能性アクリル



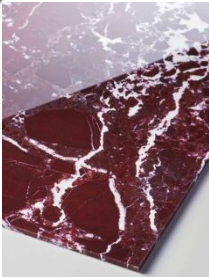
- **低迷**
- ・ヘッドランプ用
シール材 好調
- ・太陽光パネル
向け 低迷
- ・衛生材向け採用

有機微粒子



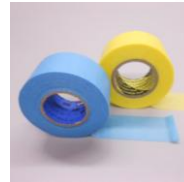
- **好調**
- ・日本製の化粧品
原料 需要増
- ・LED照明向け
光拡散材 好調

UV樹脂・シリコーン



- **低迷**
- ・非電材分野向け
UVコート材 好調
- ・シリコーン原料の
供給不足、価格
高騰

アクリル・コンパウンド



- **好調**
- ・手袋・紙/粘着・
繊維用途 好調

売上:98億円 (対前年106.3%)

有機微粒子、アクリル・コンパウンド・・・好調

3-1 化成品セグメント 方策(接着剤)

海外

■既存ビジネスの拡大、M&A

- ・AAP(中国・タイ・インドネシア) 設備投資
- ・TCC(タイ) 経営統合



タイ・ケミカル・コーポレーション(TCC)

- 連結開始時期:2018年4月(第2Q~)
- 60%の株式取得

2017年12月期 実績(1THB=3.31円)

- 売上高 : 66.7億円
- 営業利益 : 5.6億円

- ◎タイNo.1の繊維板用樹脂メーカーへ
- ◎可塑剤ビジネスの獲得

国内

■調達注力 & 利益率維持

- ・レゾルシノール・エポキシ等・原料価格高止まり
- ・4月より購買部新設・安定調達 & コスト抑制

■フェノール樹脂事業の拡大

- ・合板向け接着剤の需要、継続刈取り
 - ・フェノール樹脂事業部(旧アイカSDKフェノール)
- ⇒断熱材・成形・研磨布紙の市場へ注力

合板用途



断熱材



通期売上計画:613億円(対前年113.6%)

海外ビジネスの拡大 アイカSDKフェノールの合併効果

3-1 化成品セグメント 方策(建設樹脂)

■ 物件獲得 設計スペックイン活動注力

塗り壁材新ブランド「クライマテリア」

CLIMATERIA



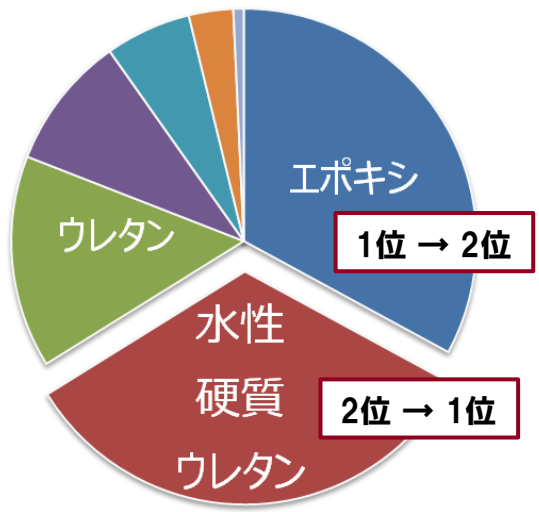
高級壁市場獲得

無機材市場獲得

水性硬質ウレタン樹脂系塗り床材

アイカピュール

aica pur



国内塗り床市場:シェアの変化
水性硬質ウレタン > エポキシ

シェア獲得

外壁タイルはく落防止工法

ダイナミックレジン
タフレジンクリアガード工法



神奈川県庁

簡易工法確立(ローラー仕様)

安全

職人不足解消

通期売上計画:96.5億円 (対前年101.3%)

物件獲得活動 注力

新規市場 取り込み

3-1 化成品セグメント 方策(機能材料)

ホットメルト・機能性アクリル

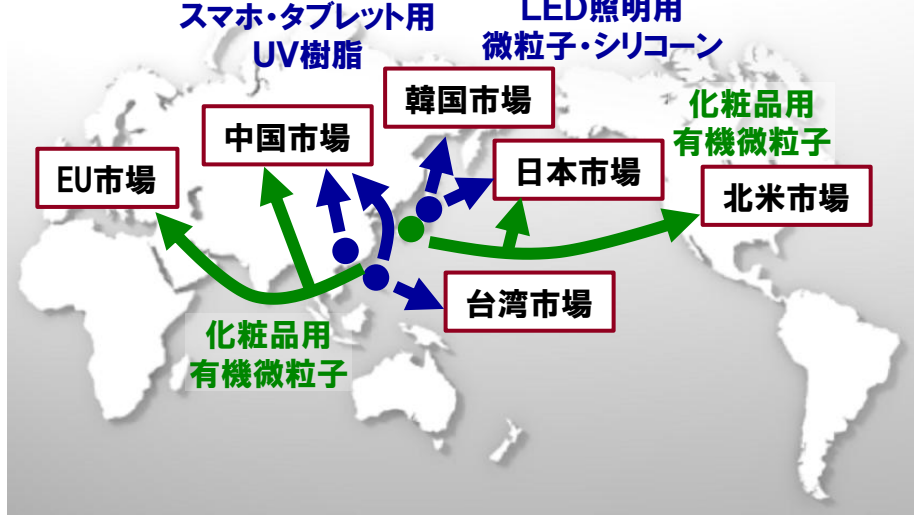


ホットメルト

- ・伊勢崎工場(旧ASP)活用
- ・インドネシアAAP拠点活用
- ・衛生材用ホットメルト納入開始
- ・エバモア社シナジー創出
- ・反応性ホットメルト分野

UV樹脂・シリコーン

有機微粒子



UV樹脂

- ・電子製品の需要地(中国・韓国)に近いAAP広東に、UV樹脂生産拠点を移設
- ・エバモア社シナジー創出

有機微粒子

- ・高品質化粧品原料の輸出
- ・日本から、世界へ (Made in Japan)

通期売上計画: 202億円 (対前年206.5%)

供給体制の構築 海外展開 M&Aシナジーの創出

※AAP: アイカ・アジア・パシフィック

※旧ASP: 旧アイカSDKフェノール

3-2 建装建材セグメント 商品群別売上実績

	2017／3期	2018／3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸率
メラミン化粧板	158.4億円	163.6億円	166.3億円	1.6%	5.0%
ボード等 フォーム	141.6億円	139.5億円	143.4億円	2.8%	1.3%
セラール	184.2億円	191.4億円	191.8億円	0.2%	4.1%
不燃建材	81.2億円	89.6億円	92.5億円	3.2%	13.8%
カウンター ポストフォーム	142.9億円	150.5億円	156.3億円	3.8%	9.4%
建具材 インテリア	59.0億円	59.1億円	57.6億円	▲2.6%	▲2.3%
合計	767.5億円	794.0億円	808.1億円	1.8%	5.3%

3-2 建装建材セグメント 商品群別売上計画

	2018／3期（実績）		2019／3期（計画）			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
メラミン化粧板	77.0億円	166.3億円	82.0億円	6.4%	177.0億円	6.4%
ボード フィルム等	65.4億円	143.4億円	68.0億円	3.9%	147.0億円	2.5%
セラール	92.4億円	191.8億円	94.0億円	1.7%	196.0億円	2.1%
不燃建材	43.6億円	92.5億円	48.5億円	11.2%	100.0億円	8.1%
カウンター ポストフォーム	74.7億円	156.3億円	78.0億円	4.3%	162.0億円	3.6%
建具 インテリア建材	27.8億円	57.6億円	28.0億円	0.4%	58.0億円	0.6%
合計	381.2億円	808.1億円	398.5億円	4.5%	840.0億円	3.9%

3-2 建装建材セグメント 実績

■ 2018年3月期 国内建設市場の市場環境

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

期初予想 住宅:▲2.5% 非住宅:+0.9%

通期実績 住宅:▲0.3% 非住宅:+3.1%



- ・住宅は底堅い需要取込み
- ・ホテル・保育園・倉庫・工場など伸張市場獲得
- ・オフィス・店舗も回復基調



消臭セラールのヒット



保育園新設需要取り込み



ホテル改修需要取り込み

建装建材セグメント売上高: 808億円 (対前年105.3%)

AS商品(アイカソリューション商品)寄与 非住宅市場回復

3-2 建装建材セグメント 実績

M&Aシナジーの創出

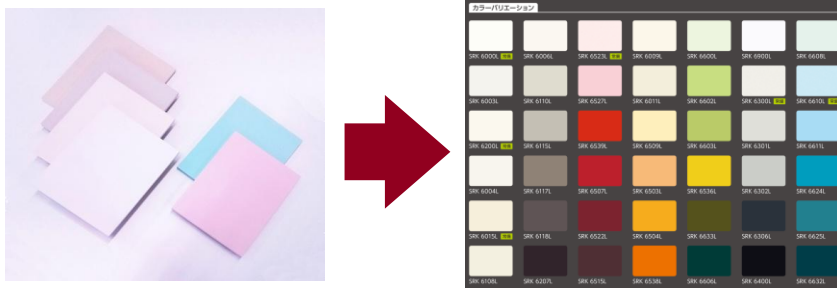
※アイカテック建材(ATK)は、2015年10月より連結化

売上高 [億円]

不燃建材事業売上高	17/3期	18/3期	対前年
旧AICA不燃ボード	10.2	10.9	106.5%
ATK×AICAシナジー (ルナライト・カラー、アルディカ、モイス等)	7.6	14.9	196.6%
アイカテック建材(ATK)	63.4	66.7	105.1%
合計	81.2	92.5	113.8%

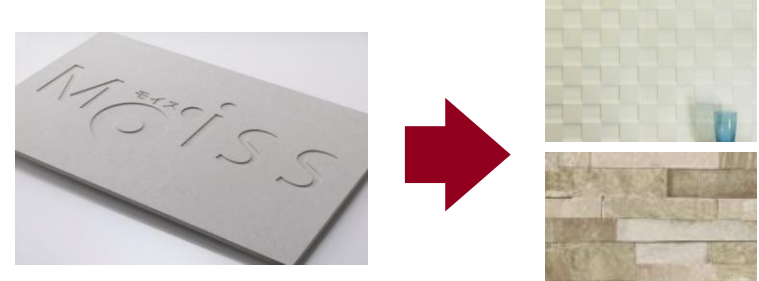


□汎用不燃板「ルナライト・カラー」



汎用的なラインナップ メラミン同色のバリエーションに

□調湿建材「モイス」



素地1柄のみのラインナップ デザイン性 付与 小ロット梱包

建装建材セグメント売上高: 808億円 (対前年105.3%)

アイカテック建材×アイカ工業シナジー寄与 非住宅市場回復

※ATK:アイカテック建材

3-2 建装建材セグメント 方策

AS商品拡販および、改修市場の強化

環境対応建材「モイス」

天井市場開拓

消臭 防カビ

化学物質吸着



メラフロントブース

安心・安全

美観アップ

長寿命化



マグネットメラミン化粧板



長寿命化

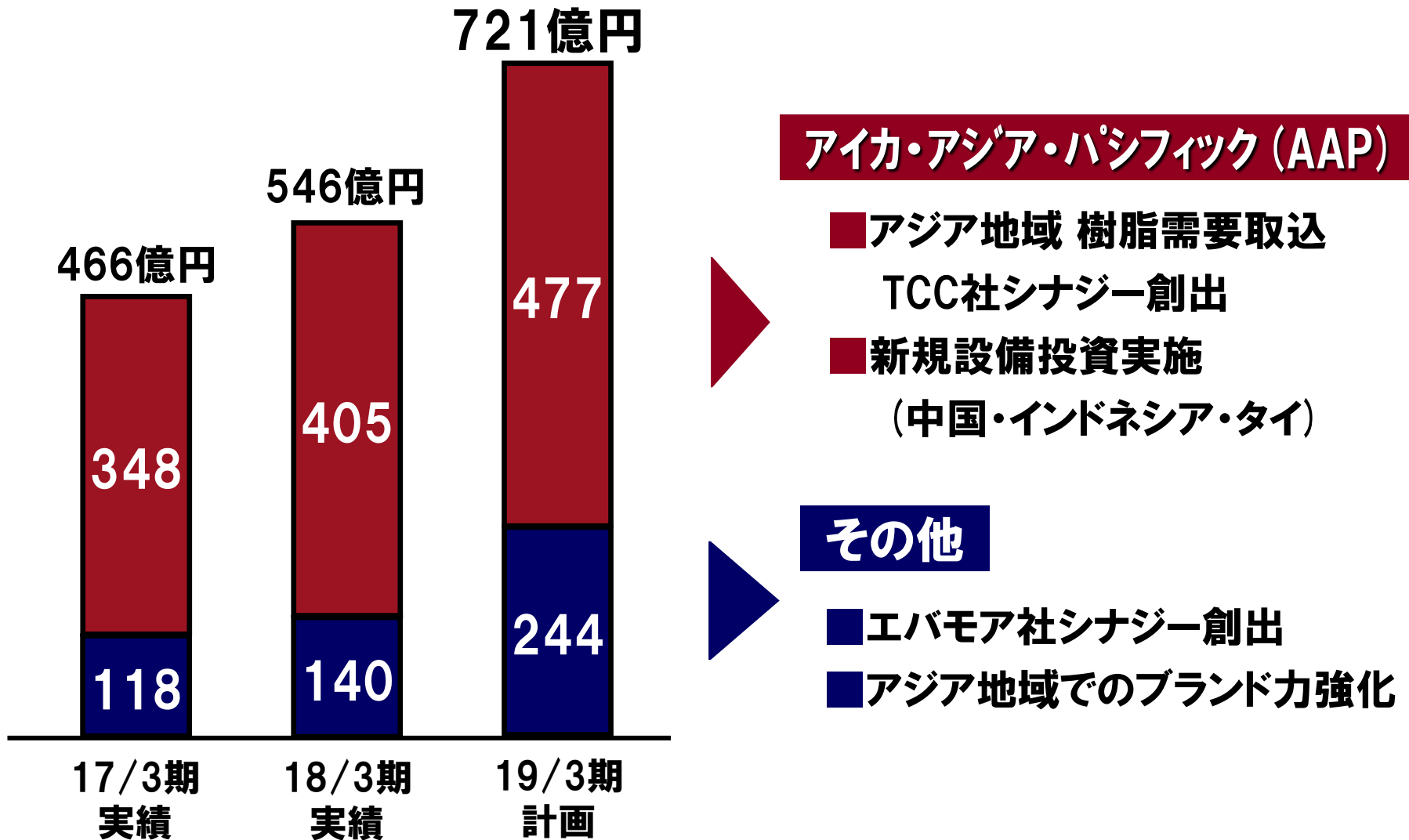
省施工

美観アップ

通期売上計画：840億円（対前年103.9%）

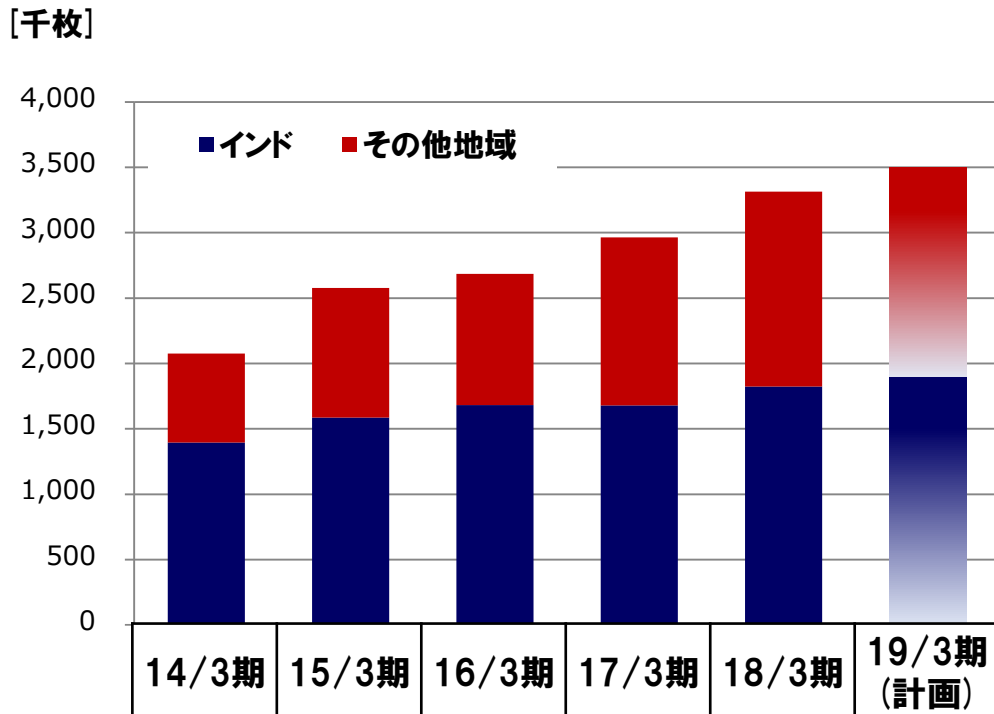
伸張市場（ホテル・保育園・改修市場）向け 課題解決型商品の提案

※AS商品：アイコンソリューション商品の略。社会課題解決型の商品群



【海外売上比率 目標】 33.4% ⇒ 38.0%以上

メラミン化粧板 海外販売枚数の推移



販売網・製造能力の強化



アイカ・ラミネーツ・ベトナム(ALV)

2017年12月設立

2019年4月～化粧板工場稼動開始

投資額:約22億円



アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社(AALH)

2018年1月設立

投資額:約3.8億円

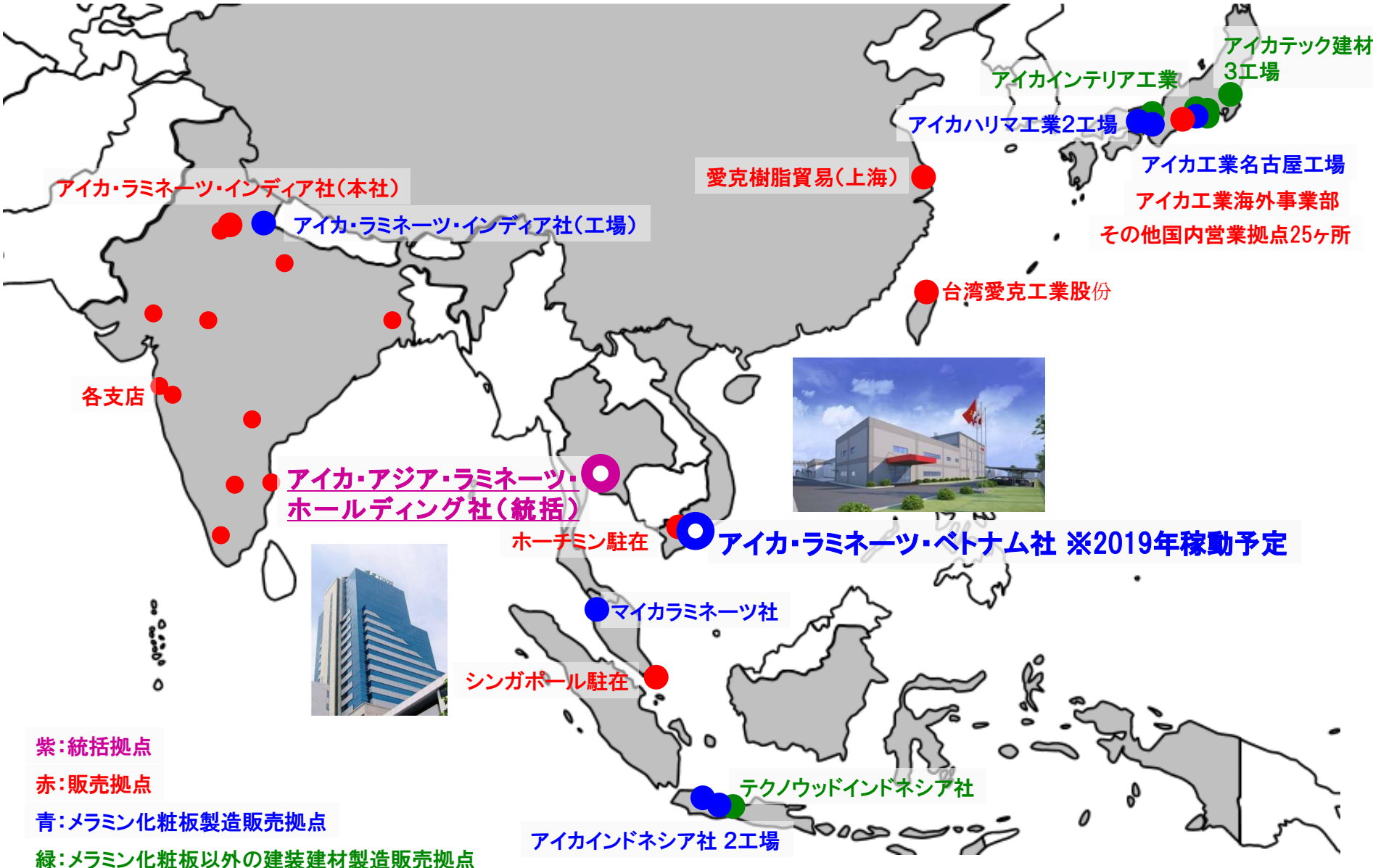
*海外建装建材事業の
ヘッドクォーター機能

【メラミン化粧板海外販売枚数】

18/3期実績 対前年111.9%

19/3期計画 対前年106.0%

3-3 海外市場 トピックス (海外化粧板事業)



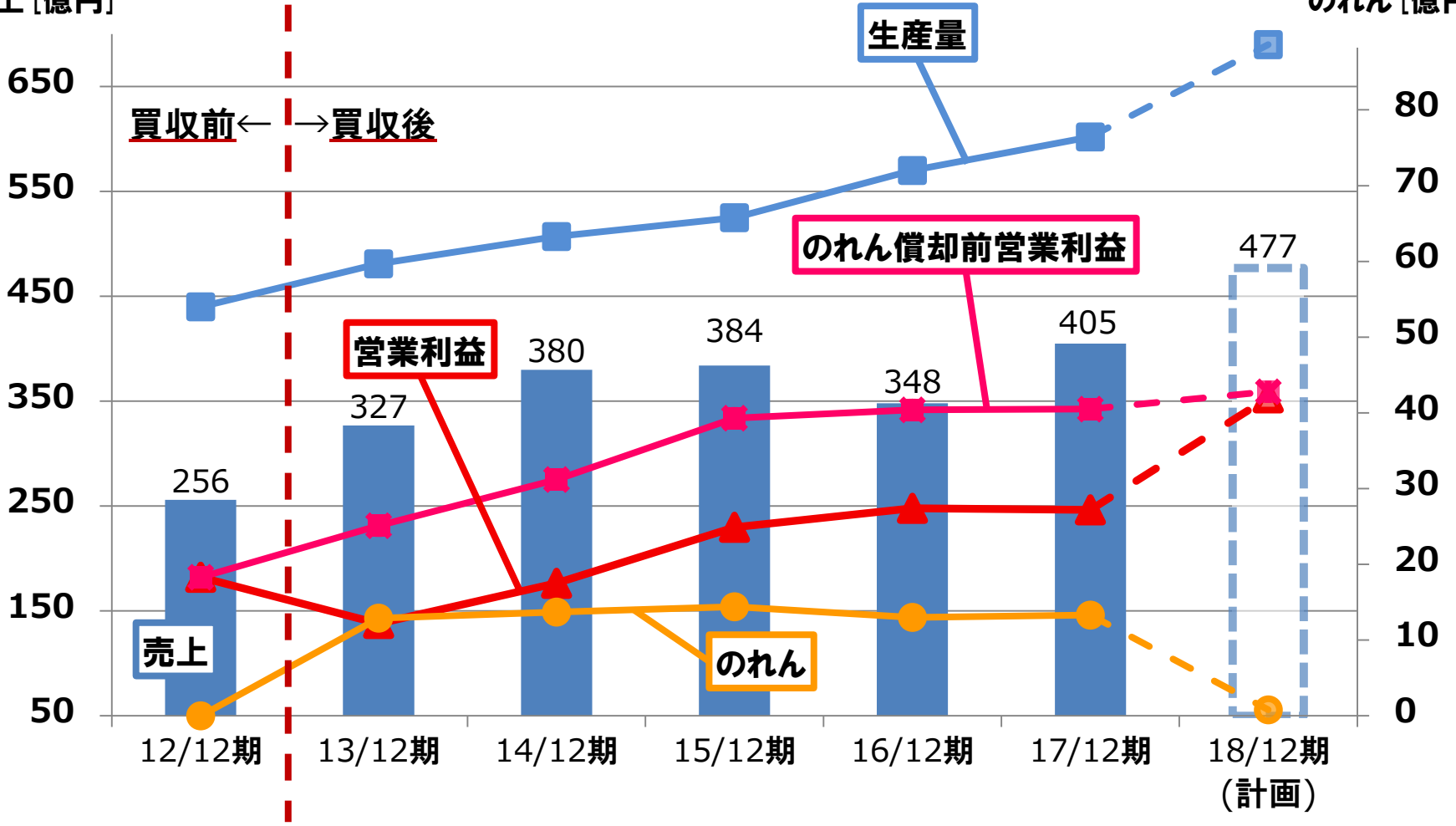
- 紫: 統括拠点
- 赤: 販売拠点
- 青: メラミン化粧板製造販売拠点
- 緑: メラミン化粧板以外の建装建材製造販売拠点

1. 2018年3月期 実績
2. 2019年3月期 計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
 - 3-3 海外市場
4. M&Aについて
 - 4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー
 - 4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて
 - 4-3 M&Aの実績および展開
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

4-1 アイカ・アジア・パシフィック5年間のレビュー

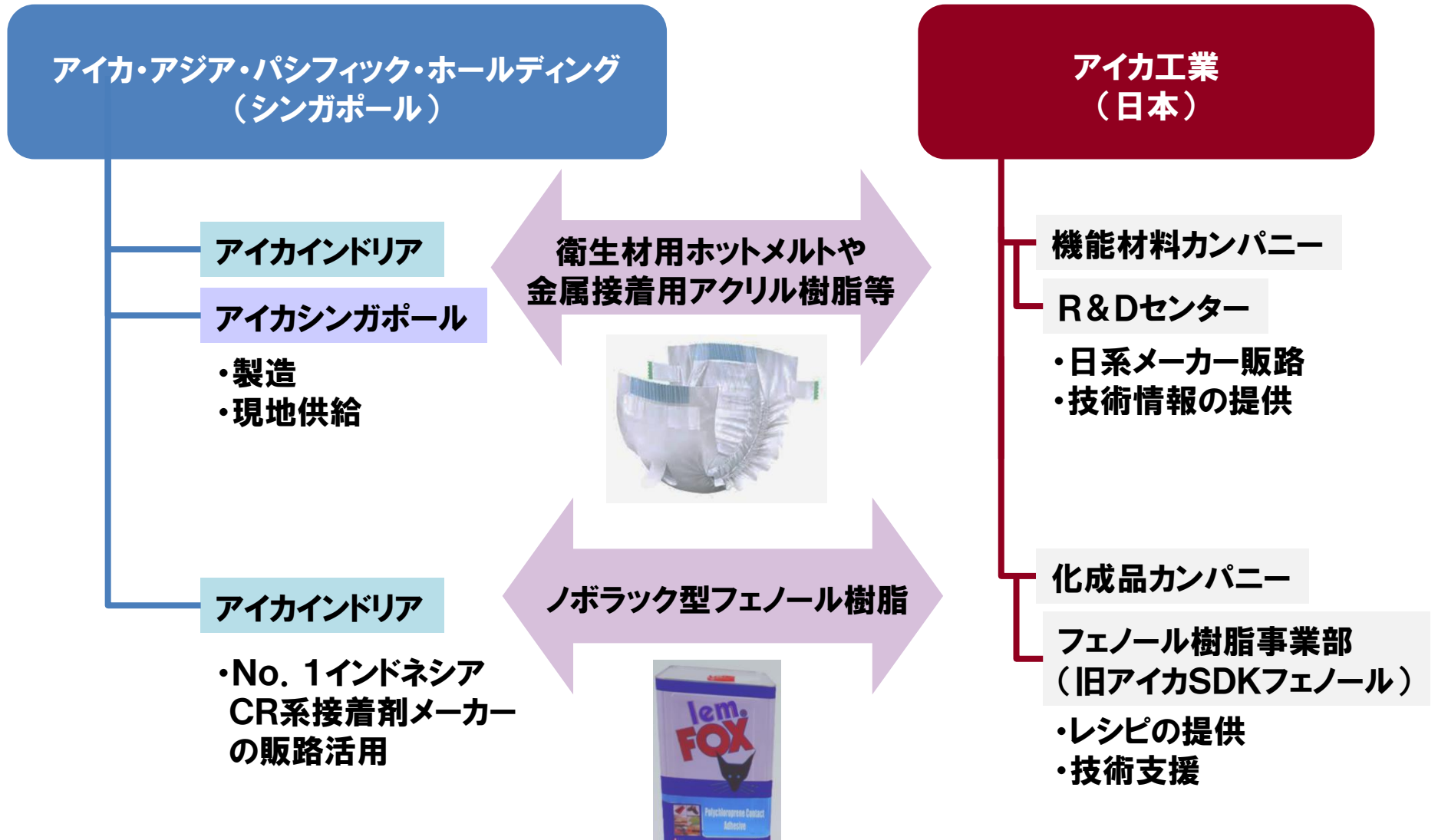
生産量 [千トン]
売上 [億円]

営業利益 [億円]
のれん [億円]



買収前比較 売上 +149億円(1.6倍・年率9.6%成長)
のれん償却前営業利益 +22.2億円(2.2倍・年率17.3%成長)

4-1 アイカ・アジア・パシフィック5年間のレビュー



技術情報やレシピの相互開示 5年累計142件

■会社概要

企業名	Evermore Chemical Industry Co., Ltd. エバモア・ケミカル・インダストリー		
取扱品目	ウレタン樹脂や紫外線(UV)硬化型樹脂。モノマーやポリオール等の川上原料		
本社所在地	台湾南投市		
資本金	994百万台湾ドル	(約37億円)	
売上高	3,325百万台湾ドル	(約126億円)	※2017/12期
営業利益	112百万台湾ドル	(約4億円)	※2017/12期

■事業領域

AICA

EVERMORE CHEMICAL

自動車



電子製品



合成皮革



成型品



化粧品



機能性繊維



靴



架橋剤(接着剤)



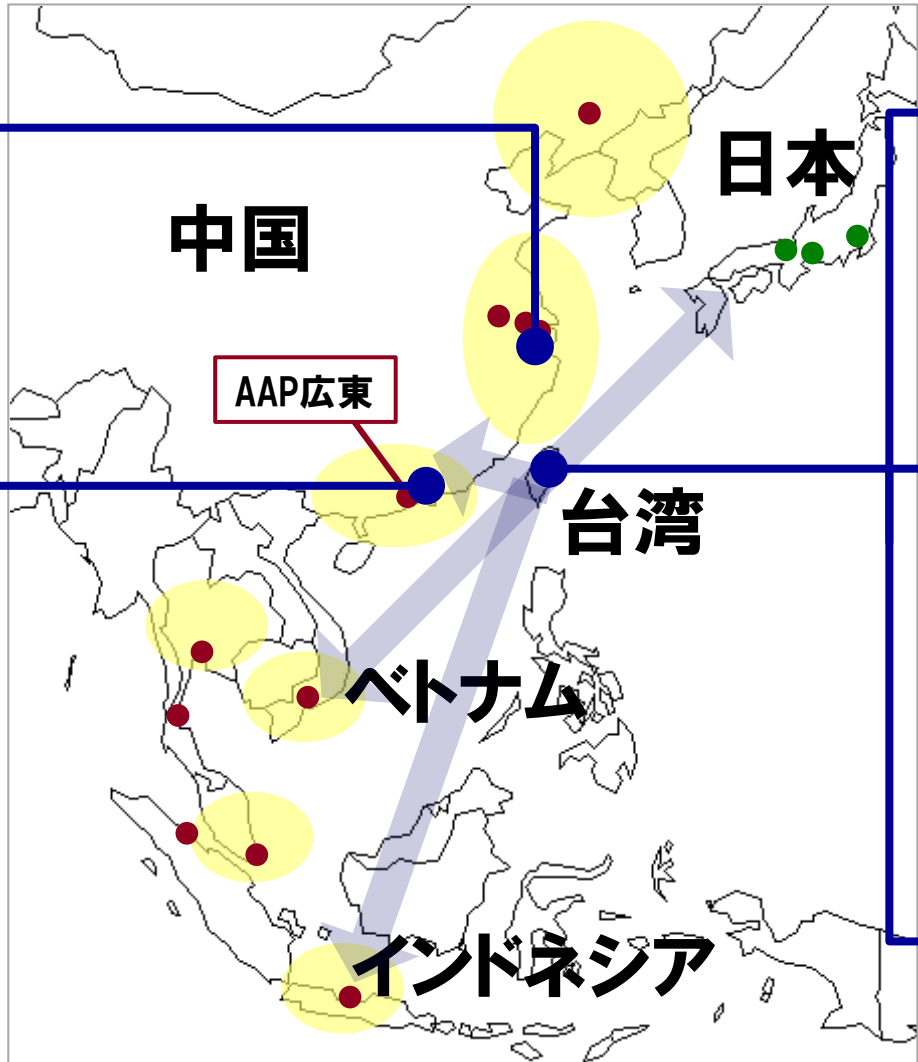
4-2 エバモア・ケミカル・インダストリー(EMC)の拠点



TOPCO(上海)販社



POU CHIEN(東莞)
ウレタン樹脂製造



EVERMORE (南投)
ウレタン樹脂、
UVモノマー製造



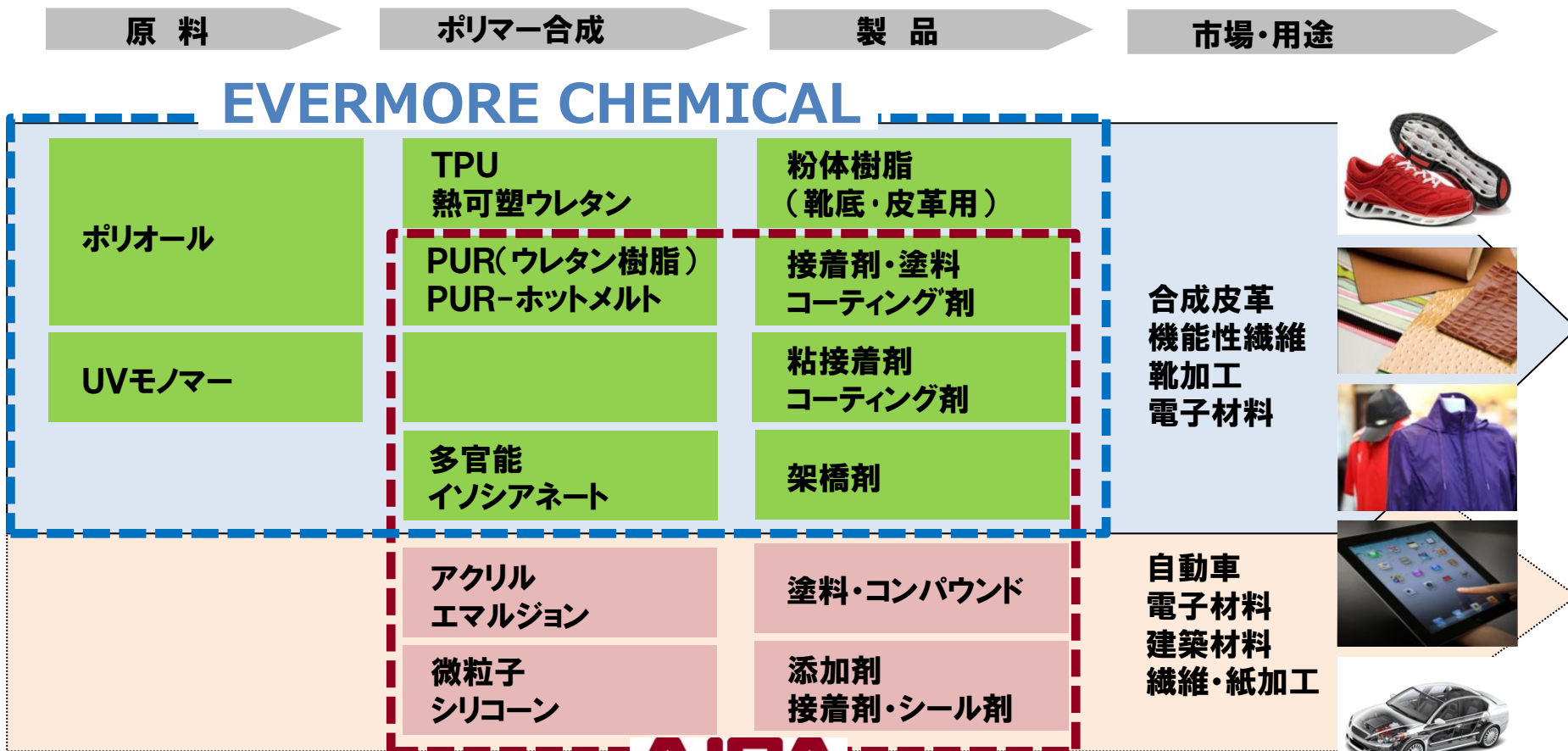
CHEM-MAT(南投)
UV樹脂製造



GIANTSTAR(台中)販社

- EMC: エバモア・ケミカル・インダストリーグループ拠点
- AAP: アイカ・アジア・パシフィックグループ拠点
- AICA: アイカ工業機能材料開発製造拠点

4-2 シナジーの狙い



□ウレタン樹脂

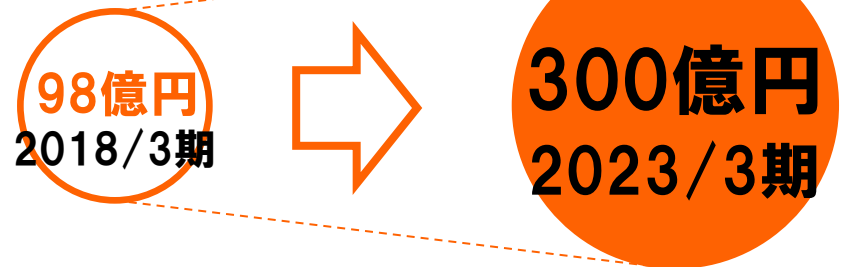
- ・川上原料を手に入れ競争力強化
靴・皮革・繊維用途などへ本格参入

□紫外線(UV)硬化型樹脂

- ・原料の設計技術を応用し、開発力強化
台湾・中国での販路獲得



機能材料事業売上高



4-3 M & Aの実績および展開

■ M&Aの実績 (2000年～)

	国内	海外
化成品	旧大日本色材工業 (2002) 西東京ケミックス (2008)	アイカ・アジア・パシフィック (2012) タイ・ケミカル・コーポレーション (2018)
	旧アイカSDKフェノール (2015)	
機能材料	旧ガンツ化成 (2001)	エバモア・ケミカル・インダストリー (2018)
建装建材	アイカテック建材 (2015)	アイカ・ラミネーツ・インディア (2011)

■ 今後M&Aで対象と考える領域

- ・AAPを中心に繊維板用樹脂・フェノール樹脂・産業用接着剤等のビジネスを拡大(アジア)
- ・自動車関連・有機微粒子等に関する機能材料事業拡大(アジア・北米)
- ・海外メラミン化粧板事業の販路獲得(アジア)
- ・国内のインフラ補修・補強事業や建設樹脂事業における施工体制の充実(日本)
- ・外壁や床材等、新規周辺事業への進出(日本)

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

1. 2018年3月期 実績
2. 2019年3月期 計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
 - 3-3 海外市場
4. M&Aについて
 - 4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー
 - 4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて
 - 4-3 M&Aの実績および展開
- 5. 中期経営計画C & C2000の進捗**
6. 配当について

5. 中期経営計画 (2018/3期-2021/3期) の進捗



項目	2017/3期 (実績)	2018/3期 (実績)	2019/3期 (計画)	2021/3期 (計画)
売上高	1,516億円	1,637億円	1,850億円	2,000億円
経常利益	183億円	196億円	210億円	220億円
ROE	9.9%	10.1%	10.6%	10%以上
海外売上比率	30.8%	33.4%	38%以上	35%以上

中期経営計画 目標2,000億円(+484億円、年率7%成長)
グループ一丸となり推進

5. 中期経営計画 (2018/3期-2021/3期) の進捗



4年累計
投資計画

1年目
投資実績

2年目
投資計画

設備投資

220億円

45.2億円

80.0億円

事業投資

180億円

50.6億円

未定

+

研究開発費

140億円

28.5億円

32.2億円

人財投資

▶ グローバル人材積極採用/育成・働き方改革
プロフェッショナル人材育成・ダイバーシティ推進

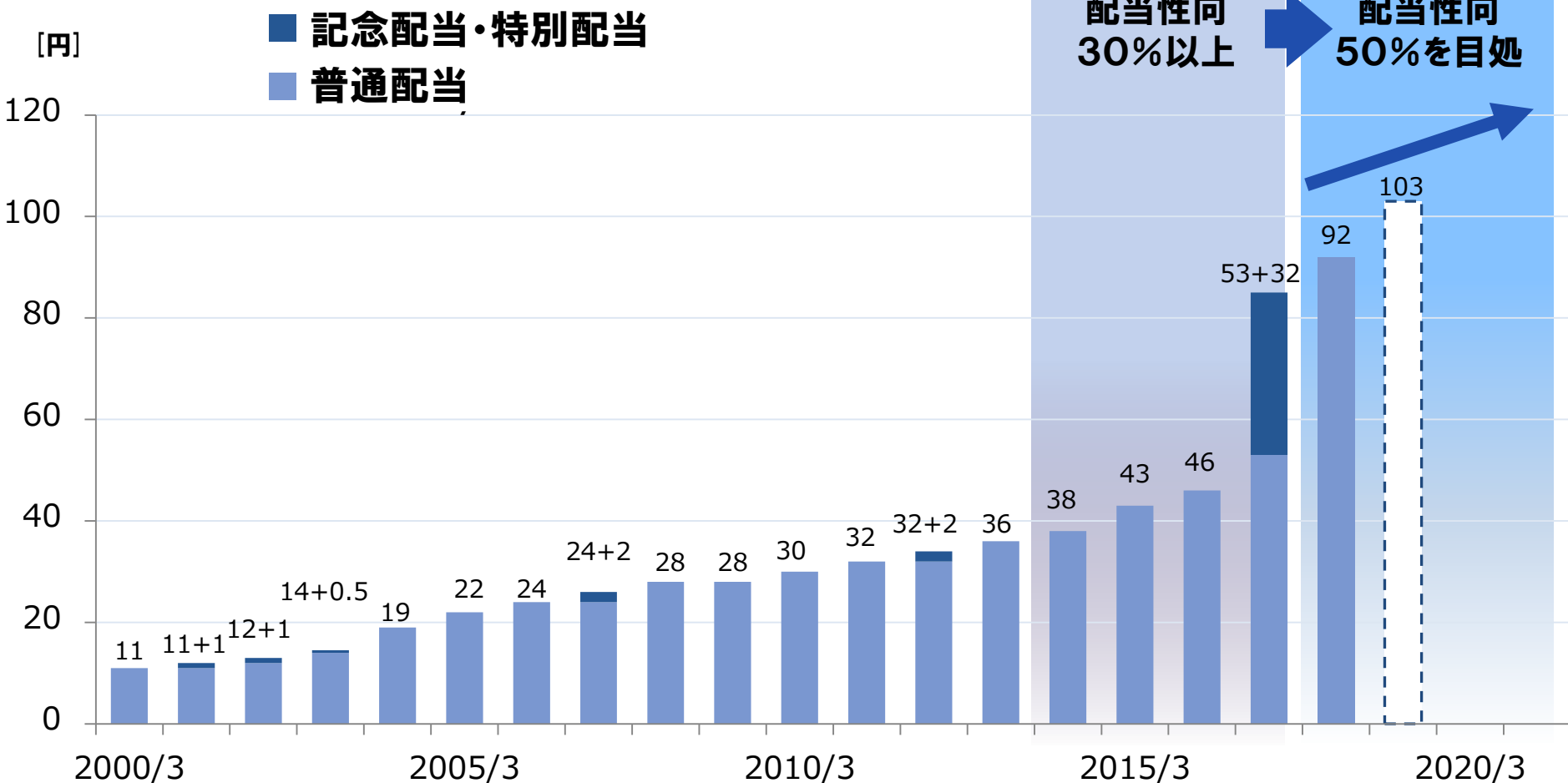
長期戦略実現に向け、積極的に投資を実行

1. 2018年3月期 実績
2. 2019年3月期 計画
3. セグメントの現況および方策
 - 3-1 化成品セグメント
 - 3-2 建装建材セグメント
 - 3-3 海外市場
4. M&Aについて
 - 4-1 アイカ・アジア・パシフィック (AAP) 5年間レビュー
 - 4-2 エバモア・ケミカル・インダストリーについて
 - 4-3 M&Aの実績および展開
5. 中期経営計画C & C2000の進捗
6. 配当について

6. 配当について

NEXT JUMP 1500

C&C2000
CHALLENGE & CREATION



※2019/3期の配当予想は、現時点の予想値です。



C&C2000
CHALLENGE & CREATION

アイカ工業株式会社